



■ 津久見～保戸島航路 お問合せ先
津久見市保戸島航路事務所 (TEL 0972-83-5454)
料金 (大人片道880円・小人片道440円)

■ 所要時間
福岡IC～津久見IC 2時間30分 / 小倉東IC～津久見IC 2時間 / 大分IC～津久見IC 25分

津久見市観光協会
〒879-2441 大分県津久見市中央町1番30号
TEL / 0972-82-9521 FAX / 0972-82-7106
https://tsukumiryoku.com



■ お食事処
龍門島 大川 (要予約)
TEL 0972-87-2024
11:00-13:00 17:00-21:00
予約 2,500円～



「まぐろ」をとことん味わいた人は「保戸島のまぐろ」がおすすめです。おさしみ、心臓・血合いのステーキ、あごなどのほか、かぶと焼きなどのまぐろの珍味が味わえます。

保戸島まぐろあるまじき

未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選 - 保戸島

保戸島ウォーキングマップ

大分県津久見市

かぶと汁

まぐろの頭の骨が味を
出すのでしょうか。コブ
のある味噌汁です。味噌
は各店によって違うので、
それもまた楽しみ。
あらからみそ汁でも、
鯛のお吸い物ともまた違
う美味さです。

ひゅうが丼

まぐろの刺身は当たり前。保戸島ではまぐろを「ひゅうが」でいただくます。甘めの胡麻だれにまぐろの赤身をからませ、熱々御飯の上におきます。船の上で簡単に作られた漁師料理が始まりました。生薬とねぎを薬味に添えてどうぞ。

真夏の保戸島の

保戸島のさすが!

保戸島の日常的非常



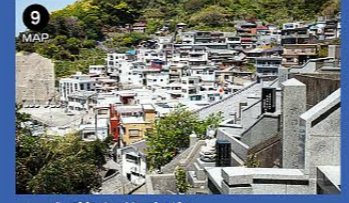
▲ リヤカーおそるべし
カーというからリッパな車。保戸島では自動車よりリヤカーが多いです。



▲ テボ(背負籠)の機能美
かなり物が入ります。背負うので重い物でもOK。保戸島発の便利グッズ。



▲ 島の生活道
さて、どれが私用の階段か。探るように歩いてみると、巨大迷路で遊んでいるようです。



▲ お墓と住宅街
お墓から住宅街が一望。住宅街からもお墓が一望でき、御先祖様も安心、満足。



▲ さあ、夕飯の支度だ
さあ、夕飯は何にしようか。島の母さんたちが、本日のおかずを釣っています。



▲ 保戸島の猫たち
島には猫が多い。その分苦勞も多いでしょうが、でも猫好きにはたまらない楽しい島です。



触れる保戸島



「保戸島」という名の由来

津久見から佐伯にかけての海部郡を、昔は「穂門郷(ほとのごう)」と呼んでいました。景行天皇がこの港に船を泊めた時、海底の大そう美しい海藻に気づき「最勝海藻(ほつめ)」を取れ!といわれたとか。「ほつめ」という音が「ほと」という音に変わり、現在、保戸島の名に残ったといわれています。

柳田國男の「海南小記」

民俗学者の柳田國男は、大正10年(1921年)沖縄を目指す旅で、保戸島で2日間を過ごしています。その時の様子が「海南小記」の「穂門の二夜」に描かれています。島には人口の多かった保戸島で、お互い寝る場を島全体で融通しあう様子が、「つまり島一つが大家内のやうなものだ。」と記しています。確かに、現在でも島民はよく挨拶を交わし、まるで皆が親族・家族のようです。

保戸島の「まぐろ」

保戸島といえば、「まぐろ」。一時は漁船167隻、まぐろ漁従事者1,000人という時代もありましたが、最近、まぐろ漁の取りまく環境はきびしく、現在は13隻、従事者130人、しかも半数以上は東南アジアの人たちです。保戸島の先人たちが、力を合せ漁場を開拓してきた「保戸島のまぐろ漁」。次の時代を見据えた漁が求められています。

保戸島の祭り



島の守護神、賀茂神社の夏季大祭です。海とのかかわりが深いだけに、大人の神輿も、子供の神輿も、獅子もどんでん海へ入っていきます。神楽、出店、花火など、港は島民と観光客で賑わいます。

14 保戸島小学校爆撃の悲劇



第2次世界大戦終戦まぎわの昭和20年(1945)7月25日朝、米軍グラマン戦闘機が投下した爆弾が、保戸島国民学校(現・津久見市立保戸島小学校)を直撃。児童125名、教師2名が即死、75名の児童に重軽傷を負わせました。現在、校門横の慰霊碑には、爆死した教師及び児童の名が刻まれ、供養と恒久平和のシンボルとなっています。

保戸島ウォーキングmap

ウドとは穴のこと。ほら穴があり、昔、藤原純友氏が海賊征伐に来たが、自ら海賊の頭となり、このウドと日振島を結んで活動の拠点としたと伝えられています。昔も今も保戸島は豊後水道の要所なのです。

無垢島が良く見えます。押上がりというだけに船を押して上がるほど流れが早い場所です。

ハトウド

ハマユウ

石鏡山 ちよつと緊張する参道を登れば絶景に感激!

押上りトンネル

埋め立て地。住宅がひしめいています。アパートではなく色が違う家はすべて別の家。くっついて建っています。

振り返ると山の上に石鏡山。

井戸

防空壕跡

えびす様

Aコース 足に自信のある方は… 細い急な傾斜を通り抜けたとえびす様があり、ここから見る海の眺めは最高です。えびす様は大坂の西成区よりつれてこられました。漁の神様として祭られています。

タカゴ(高甲岩)を見渡せます。瀬の浜まで行けませんが、安全のためここまでがよいでしょう。奇岩がたくさんあります。

瀬の浜

岩場を越えます。歩行注意

クロメ・ひじきを炊く鉄釜。大きな釜でみんなで夏に長時間炊きます。

桜坂 峠を越えて開けてくると右手に四国が…。天気の良い日は白い風車まで見えます。

小さな階段の道を上ります。大雨が降ると川のようになります。

保戸の集落を見下ろせるスポット。記念撮影ポイント

中ノ谷

上ノ路

法照寺

海徳寺

御大師様井戸

大師堂

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

井戸

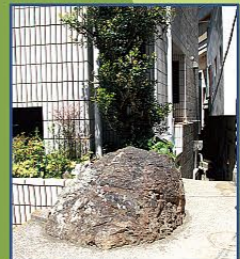
井戸

井戸

井戸

海徳寺境内 正面に津久見のセメント工場の煙突が見えます。ここから14Km離れています。

骨地蔵 終戦の半月前小学校に爆弾が投下され、127名の命が失われました。海徳寺にはその遺骨を納めた地蔵様があります。7月25日の命日には島をあげての法要が行われ、県下のたくさんの小学校から慰霊祭にこられます。



10 景行天皇の腰掛石 12代天皇である景行天皇がクマノ征伐の際に立ち寄り「ホツメの門」と名付けられました。この辺りは埋立て地で、埋立て前はここまで潮が来ており、この小さくみえる岩も巨大な岩でした。

14 戦没学徒慰霊碑 今でも小中学校の生徒が月命日の毎月25日には掃除をし、戦争の悲惨さを風化させないよう取り組みをしています。



13 御虎御前様 虎御前伝説は各地にあります。この保戸島では厄病除けの祭神とされています。

島の甲の港。先まで行くと夏には泳いだりできます。



中ノ島観音様 亀の甲に立っている観音様です。

カモンバイ

マツバギクの群落 開花4~6月

間元海峡 本土がすぐそこに、流れが激しい場所です。

四浦半島

間元

保戸島を歩こう! おすすめコース

- Aコース** 30分 — 加茂神社コース
- Bコース** 1時間 — 海徳寺より民家を過ぎて山道を越え二目の港を散策するコース
- Cコース** 1時間30分 — 海徳寺コース
- Dコース** 30分 — 海徳寺コース
- Eコース** 1時間 — 海徳寺より民家の間を通り爆撃の慰霊碑を廻るコース
- Fコース** 1時間30分 — 海徳寺より民家の間を通り爆撃の慰霊碑を廻るコース



3 石鏡神社 海上安全を祈願して勧請。



4 加茂神社 保戸島の守護神として京都の上加茂神社から遷移勧請。夏の大祭ではここから御輿が出發します。



6 法照寺 真言西本願寺派。



7 海徳寺 浄土宗知恩院末。



8 御大師様井戸 真言宗草創の横にある井戸は、岩湧水による良質の水で、水道普及まで村内の飲料水でした。



11 漁業通信速報 この通信板を見れば、保戸島のまぐろ船の活動がひと目でわかります。



13 御虎御前様 虎御前伝説は各地にあります。この保戸島では厄病除けの祭神とされています。

ビューポイント

制作 津久見市観光協会

